

# 臼田協働まちづくりワークショップとは

## ワークショップとは

もともとは「作業場」「工房」などを意味しています。

ワーク（身体を動かす）＋ショップ（自分でつくったものを公開する）、つまり参加者が主体的な学習や体験活動、共同作業を通して多くの人と積極的に交流することにより、自分自身の中に新しい「気づき」を得ながら意見や事柄をまとめていく会議です。

## 1 ワークショップの目的

住民の皆さんの意見を広く反映させることを目的とし、課題の発見、目指すべき方向性や方針について、住民の皆さんが主体的に参画し、行動し、理解を深めながら議論する場として、住民の皆さんによる研究検討会議（ワークショップ）を設置します。

また、これまでの、「行政主導型の行政運営」から住民と行政が対等な立場で考え、市民活動団体等とともに住民サービスを担っていく「協働型の行政運営」に移行することが求められていることから、協働によるまちづくりを進める。

## 2 ワークショップの一般的な約束事

- 参加者の方は、一人ひとりが水平関係にあることを理解した上で、お互い学び合う姿勢に心掛けましょう。
- 他の人の意見やアイデアを否定することや、非難するような発言は控え、自分と違った考え方や視点も大切にしましょう。
- なるべく多くの方が議論に参加できるように、発言はできるだけ短く簡潔にし、また他の人の発言は最後まで聞くように心掛けましょう。
- 発言にあたっては、なるべく専門用語の使用は避けましょう。もし、どうしても使用する場合には、わかりやすく解説するようにしましょう。

☆ワンポイントアドバイス

## 「話し上手より、聞き上手！」

がワークショップをより有益なものとするための心構えです。

### 3 臼田協働まちづくりワークショップ 公開のルール

- (1) 会議は公開とし、ホームページ等で開催日や議事の概要を公表する。
- (2) 傍聴人は事務局が傍聴に適さないと認めた物品等は会場に持ち込めない。
- (3) 傍聴人は発言できないが、会議終了後に意見等を文書で事務局に提出できる。
- (4) 傍聴人は、写真・ビデオ撮影、録音等はできない。

### 4 臼田協働まちづくりワークショップの進め方

① 問題点、課題等の発見、整理



② 課題の決定、課題別のグループ分け、グループ代表者の決定



③ グループ作業



④ グループごとに素案のまとめ



⑤ グループごとの内容を報告書にまとめ、『**臼田まちづくり協議会運営委員会**』に提案します。



⑥ その提案内容を踏まえて『**臼田まちづくり協議会運営委員会**』は調査・検討を行い、『**提言書、要望書**』としてまとめ、市に提言、佐久総合病院へ要望します。